

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 乳幼児の心理学	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者 板垣 寛	当該科目に関する実務経験 臨床心理士 児童相談所相談員 児童発達支援センター相談員
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	幼稚園教諭専攻科 後期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい及び概要] ・乳幼児の心理的発達(認知・情動・社会性・自己など)について学び、乳幼児の発達の様相の実際を理解することを目的とする。乳幼児期における子どもの発達の特徴を理解し、発達の基本的な概念や養護、理論について知識を習得する。 乳幼児の心理的発達について学んだのち、各自が興味関心を持ったテーマを掲げ、研究成果を発表する。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 1. イントロダクション：生涯発達における乳幼児期の位置づけ 2. 有能な赤ちゃん：新生児の認知能力/新生児模倣/共鳴動作 3. 認知の発達：ピアジェの認知発達段階理論/感覚運動器/前操作期 4. 認知の発達：自他の心の理解/心の理論 5. アタッチメントの発達：アタッチメントの起源と発達 6. アタッチメントの発達：アタッチメントの個人差とその要因 7. 情動の発達：基本情動理論/情動のタイムテーブル/情動コンピテンス 8. 自己の発達：自己認知/自己理解/自己抑制 9. 社会性の発達：仲間意識/向社会性/思いやり 10. 遊びの発達：遊ぶの意義/ごっこ遊び/遊びと仲間意識 11. 映像から観る乳幼児の発達の姿と保育者の支援 12. 11 受けての事例を掲げてのグループ討議 13. テーマに沿った研究① 14. テーマに沿った研究② 15. 研究発表会			
[使用テキスト] ・「子どもと関わる人のための心理学」～保育の心理学、こども家庭の心理学への扉～ (萌文書林) [参考文献] ・「子ども理解の理論及び援助」～ドキュメンテーション (記録) を活用した保育～ (萌文書林)			
[成績評価の方法と基準] 教科出席率が 80% 以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。 ・ 考查点(75%) ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。			

・平常点(25%)

・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。